

活動日誌

㊤ 5月 1日	ダテな美術展 商工会議所工業部会 地元消防団との懇話会	6月 20日	岡山大学愛媛県同窓会
5月 2日	伊達なまち歩き 宇和島東高30期同級会	6月 21日	海の恋人まつり
5月 3日	わんぱく相撲宇和島大会 朝霧湖マラソン(参加)	6月 22日	吉田陸上会
5月 4日	宇和島お城まつり	6月 23日	定例会一般質問(登壇) 商工会議所通常議員総会
㊤ 5月 5日	宇和島お城まつり	6月 24日	定例会一般質問 自民党議員会勉強会「国体準備の現状について」 「宇和島市の適正な水道料金」について
㊤ 5月 6日	トキワバイカツツジ観察会／堀越清一先生	6月 25日	教育環境委員会(傍聴) 産業建設委員会(傍聴)
5月 8日	クルーズ船ロストラル入港 プレジデント皇神宇和島理事会	6月 26日	総務委員会 厚生委員会(傍聴) 山本議員講 総務委員会理事懇談会
5月 11日	伊予銀行宇和島支店副支店長懇話会	6月 27日	ダブルダッチ講習会／番城幼稚園 伊達400年祭記念文化講演会
5月 13日	愛媛平成市議の会伊予市研修会 「内閣府まちひとしごと創生について」	6月 28日	宇和島園域大集合
5月 16日	ダブルダッチ遊び 墨友会書展 武者ゆるキャラ大集合 宇和島ロータリークラブ創立75周年記念講演会 「超高齢者社会における日本の役割」	6月 29日	市長懇談会
5月 17日	南予トライアスロン練習会(主催) 病院祭＆看護の日(徳州会病院)	6月 30日	全員議員協議会 定例会本会議(最終日) 全員議員協議会
5月 18日	クルーズ船ロストラル入港 歓迎迎行事 市議会 総務委員会行政視察(18～20日)	7月 1日	「宇和島市総合戦略について」 日本会議宇和島支部総会
5月 22日	山本議員講	7月 2日	地元消防団との懇話会 地域づくり研修会 「地域再生～住民自らによる感動の地域づくり」 「婚活における従事者の心構え」
5月 23日	自民党県連第59回定期大会		宇和島商工会議所工業部会 宇和島東高30期同級会
5月 24日	鶴島小学校運動会 吉田消防団送り大会	7月 3日	浪越孝講演会
5月 25日	全員議員協議会 「宇和島市総合戦略基本方針(案)」の策定について 宇和島法人会通常総会	7月 4日	宇和島城下町まつり 吉田町夏祭り
5月 26日	トキワバイカツツジ打合せ 二歳児健康相談 宇和島市物産協会理事会	7月 5日	いごつそうアクアスロン(参加)
5月 28日	宇和島市観光協会総会 地方局振興課「愛媛の営業」について	7月 6日	愛媛県市議会観光振興議員連盟定期総会 「新時代の日台関係」について
5月 29日	自民党議員会月例勉強会 新ごみ処理施設・汚泥処理センター・丸島架橋 現地視察	7月 7日	宇和島東高校内生活体験発表大会
5月 30日	薬師谷そうめん流し開所式 竹灯籠のタベ	㊤ 7月 11日	2リバーサイクリング 宇和島倫理法人会15周年記念講演会 愛媛平成市議の会幹事会
5月 31日	たばこ塩の博物館寄贈式	7月 14日	トキワバイカプロジェクト打ち合わせ
6月 1日	地元消防団との懇話会	7月 16日	市政報告会
6月 2日	愛媛平成市議の会事務局引き継ぎ 宇和島商工会議所工業部会役員会 宇和島東高30期同級会	7月 18日	ダブルダッチ講習会(鶴島小学校)
6月 3日	トキワバイカツツジプロジェクト	7月 19日	バスガイドおもてなしトーク
6月 4日	6月議会議案説明会	7月 22日	吉田陸上会・ガイヤカーニバル
6月 5日	愛南トライアスロン審判打合せ 建設協会支部長就任祝い	7月 23日	和霊神社和霊大祭 当別町議会歓迎交流会 花火警備
6月 6日	愛南トライアスロン(審判ボランティア)	㊤ 7月 24日	大浦青年団牛鬼 和霊神社神輿
6月 7日	平和大使セミナー	7月 25日	宇和島市合併10周年記念式典
6月 10日	委員会視察報告書作成会	7月 26日	第43回和霊地区朝顔展 ピースロード2015
6月 11日	愛媛県警察協会宇和島地区支部総会 宇和島伊達Spirits入魂計画		川淵三郎氏講演会
6月 12日	うわじま牛鬼まつり花火大会実施内容説明会	7月 28日	母と子の水泳教室
6月 13日	吉見敏幸宇和島青年会議所歴代理事長葬儀 宇和島市体育協会総会	7月 31日	自民党支部議員会 産業経済部 講演会「愛媛県の営業戦略」 自民党議員会月例勉強会「宇和島市防災計画について」 山本議員講
6月 15日	全員議員協議会		
6月 16日	宇和島市観光協会 伊達なふるさと商品券説明会 宇和島JC創立記念例会・シニアクラブ例会		
6月 18日	トキワバイカプロジェクト会合		



5月1日 伊達なまち歩き



5月3日 朝霧湖マラソン



5月17日 南予練習会



5月18日 ニセコ予算研修



5月18日 当別表敬



5月23日 県連大会



5月28日 愛媛県の営業



5月29日 汚泥処理センター



6月6日 愛南トライアスロン



7月11日 ツーリバーサイクリング



7月19日 鶴島ダブルダッチ講習会



7月22日 ガイヤカーニバル



7月24日 大浦牛鬼



7月24日 親牛鬼パレード

活動報告

【愛媛平成市議の会 事務局に就任しました】

この会は、党派を超えた県内市会議員の勉強会で、来年は設立20周年になります。県内の各市の市会議員合計276名の4割近い107名が所属する会です。1年の任期で、事務局(1名)を勤めます。

【宇和島市議会 産業建設委員会 副委員長に就任しました】

宇和島の市議会に常設されている四つの常設委員会の一つで、所管は、○農政・林業・農林土木・中山間地対策・農畜産振興・農業支援センターに関する事項○商工振興・観光事業・雇用対策・勤労青少年ホーム・観光情報センターについて○水産振興・漁港について○国土調査について○一次六次産業の人材育成・フィールド教育の推進・高等教育機関の誘致について○農業委員会に関する事務について○道路・橋梁・河川・用地・工業等技術管理について○都市計画・公園緑地・下水道・浄化センターについて○市営住宅・建築設備・建築指導について○水道事業の管理・運営についてです。

【宇和島の教育環境を変えよう「ICT整備を進める要望を続けています」】

子どもたちは、地域の宝であります。たとえ、その子どもたちが宇和島を離れて暮らし暮らすことになったとしても、ふる里のことを誇りにして立派な人生を送って欲しいと思っています。その内の多くが、生活の場として宇和島を選んでくれると良いのですが、なかなか現実には厳しいわけで、せめても、いつまでも宇和島を忘れずに、恥ずかしくない人生を送ってくればそれはそれで喜ばしいことであると思っています。

そんな、子どもたちを教え育む環境の整備について、本会議でも訴え続けています。現状はというと、宇和島市の小中学校の全国学力テスト※1 の結果は2年(発表が始まって以来)連続で県内最下層にあります。そんなことから宇和島で義務教育を終えた子どもたちが、日本の平均値に至っていない欲しい。他の自治体で公教育を受けた子らと出会い共存し時に競い合う中、せめてこの部分で劣るようなことがないように環境を準備しておきたいと思っています。例えば、教室のICT※2 環境整備を提案してきました。県では、モデル校を指定してタブレットや電子黒板等使った研究を行うとしていますが、市でも全校一律に整備を行わなくてもモデル校等のICT活用の成果※3を、他の学校へ広めていくと良いのではないのでしょうか。もちろん、教室にIT機器を揃えるだけで優秀な人材が育つわけではないのですが、少なくともあまり勉強に興味を持たない子どもたちに授業に参加させることが出来(8割を超える児童生徒が、ITを活用した授業を肯定的に評価する ※4)、学力が定着するというデータは顕著であります。※5 また、国際調査※6 でも日本の教員の多忙さは突出していますので、学校のICT化によって校務の効率化や教材の共有などを進めることで、子どもと接する時間を増やし、いじめの撲滅や学力向上といった、真の教育課題に向き合う職場環境の改善も出来ます。※7

残念ながら、宇和島市内の小・中学校ではICTの整備が十分とは言えません。全ての普通教室及び理科・美術・技術・家庭科などの特別教室に大型のTVを備え付けることができるならば、宇和島市内の小中学生の学力向上は間違いないでしょう。大型TVを利用することで、プロジェクターの不足も解消できます。また、セッティングに時間がかかるプロジェクターと比較して、教員の負担も軽減され、(プロジェクターは休み時間の10分間では準備できないこともあり、大型TVであればその時間を短縮できる)より高い頻度で授業に活用できると考えます。

例えば数学のグラフに関する学習などは、ICTを活用することにより、授業の効率化が期待できます。理科では、顕微鏡の画像などを画面に映し出すことで、学習内容の理解が深まると考えられます。図や写真などの視覚教材は、生徒の理解を深めるのに有用なものであることは言うまでもありません。

財政論で教育を語ることはあってはならないと思いますが、逆の意味でこの点はお伝えしなければならないでしょう。文科省の「教育のIT化に向けた4カ年計画(平成26年～29年度)」によって、18学級の小学校に568万円、15学級の中学校に559万円の財政措置※8(国からの仕送りに含まれ、学校規模によって変わります)が成されているのです。もちろん、緊急性の高い政策実現にそのお金を使っていくことは、自治体の裁量なのですが、耐震化のめどが付いた宇和島で、今度はよりよい学校環境作りのために、「子どもたちのために」お金を使ってはどうか。みんなで声を上げましょう。

※1)このテストは受験レベルの学力を計るというよりもむしろ、読み書きそろばんとイメージしていただければ良いような、日本人として義務教育を終了した後身に付けておいて欲しい、生きる力(計算であつたりコミュニケーションの能力)を計ったりするものです。

※2)ICTはいわゆるITの異称で、情報通信技術。その利用・活用方法を教育の一環として取り入れた教育、または、ICTを駆使した教育のこと。

※3)中村知事は総合教育会議(平成27年5月26日)で、南予のある中学校の授業を見て、「随分様変わりをして、タブレットを使っているやられていたんですが、ぱっと見た感じでも、すごく楽しそうに学んでいるという印象が強かったんです。後で聞いたら、その学校は数学の先生がすごく熱心だそうで、県下でもトップクラスの成績だというんですね。やはり先生の力って大きいんだなとびっくりしました、本当に。」と述べています。

※4)文科省 生涯学習政策局 情報教育課「重要課題検証」ヒアリング資料P6<児童生徒の意識> ※5)4の資料 P7 <学力の傾向>

※6)OECD 国際教員指導環境調査(TALIS2014) ※7)文科省 初等中等教育局「学校現場における業務改善のためのガイドライン」

※8)文科省 生涯学習政策局「学校のICT環境を整備しよう」